

## 「協調性を育ませたいな。」

本所で準備している活動プログラムの中で「協調性に育む」のに適した活動がたくさんあります。次の一覧を参考にしてください。

### 「協調性を育む」に適した活動のプログラム

#### 【海】

- ・砂の芸術
- ・海岸ウォークラリー
- ・砂の芸術



#### 【山】

- ・海浜フレンドパーク
- ・キャンプ（テント体験）
- ・野外炊飯
- ・ダッチオープン体験
- ・ニュースポーツ
- ・トレッキング
- ・火おこし・いろいろ体験

#### 【夜】

- ・キャンプファイア
- ・キャンドルファイア
- ・ボンファイア
- ・ナイトハイキング

#### 【室内】

- ・室内ビンゴオリエンテーリング
- ・海浜フレンドパーク

※ 詳しい活動内容の説明については、いわき海浜自然の家ホームページ (<http://www.iwaki-nc.fks.ed.jp>) を参考にしてください。

別れの集いに参加して、子ども達から宿泊活動を終えての感想を聞くことがよくあります。みんな口をそろえて「楽しかった」といいます。そこで「どうして楽しかったの？」と問いかけると色々返事がかえってきます。その中で必ず帰ってくる言葉が「仲間がいたから」です。短い期間ですが、仲間と過ごし活動し、「助け合い」「協力」「思いやり」を学んだからこそ出てくる言葉です。このことを宿泊活動の目的の一つとしてあげる学校も多いと思います。子ども達は、活動を通して自然とともに友人との触れあいを深めていくようです。



子どもたちがよりよく学ぶために計画性のあるプログラムを立てることが大切です。ひとつひとつの活動にねらいを設定し、最終的には子どもたちの姿をイメージして全体の流れを大切にしながら計画を立てましょう。

目一杯活動をさせたいために窮屈な計画を立ててしまう場合があります。無理があると子どもたちはゆとりを持って動けません。引率者にも余裕がなくなります。そして、大きな声で「早くしなさい」と怒鳴ってしまい、子どもたちは指示に従ってあたふたと動き、過ごすことになります。それでは「助け合い」「協力」「思いやり」などに気づくはずがありません。そんなことにならないよう、全体の流れを考えた余裕のある計画を立てましょう。

○活動する人数や時間に気をつけましょう。

大人数では十分に活動できなかったり、時間が予想以上にかかってしまったりすることがあります。海岸ウォークラリーやナイトハイクは、時間差をつけてのスタートになりますので班数が多ければ多いほど時間がかかります。

【例 1泊2日】

	午前	午後	夜
1 日 目	9:00 出会いの集い 10:30 海浜リゾートパーク	13:30 ②海岸ウォークラリー 海岸コース	19:00 ③キャンドルファイア
	(雨) 室内ビュッ	(雨) ④貝の絵ろうそく	(雨) キャンドルファイア
2 日 目	9:30 野外炊飯	13:00 別れのつどい	
	(雨) 貝飾り		

② 2つのコースがあります。どちらも3時間程度かかります。海を眺めて磯の香りを感じながら、班全員で課題を解決していきます。

クラフトの中で「貝の絵ろうそく」「貝の壁飾り」「ストゥアート」については、接着剤の乾き具合を考えると当日の持ち帰りは難しいです。お帰りになる前日の活動であれば大丈夫です。尚、着払いでの宅配も可能です。

③ ろうそくは持参でも注文でもどちらでも結構です。場所については、体育館、利用施設ホール、野外学習室などを利用しますが雨天時は他の団体との調整がありますので当日にならないと場所の確定はできません。